

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

検査項目名	婦人科液状化検体細胞診
提出容器	液状細胞診(LBC)用容器
採取器具	付属ブルーム型ブラシ推奨 (裏面注意事項参照)
保存方法	室温
検査方法	LBC法 (Liquid Based Cytology 法)
所要日数	4～9日
検査実施料	150点 ([N004]細胞診「1」婦人科材料等によるもの)
検査判断料	150点 (病理判断料)

提出時のご注意

- 婦人科液状化検体細胞診ご依頼には、「細胞診依頼書および報告書」をご利用ください。
依頼書の検査材料欄の(固定法)は「その他」にチェックを付けてください。
- 専用容器にも、患者様名を必ず正確にご記入ください。
- 子宮内膜検体は従来法(塗抹標本)でご提出ください。
※ 弊社では、子宮内膜検体について、この容器を使用することをお薦めしていません。
- LBC法では、婦人科材料以外の材料(部位)での受託はいたしませんのでご了承願います。

液状化検体細胞診 ThinPrep

ThinPrepは、子宮頸部細胞診の手法として1996年に最初の米国FDA(食品医薬品局)の承認を受け、現在では米国のみならず欧州やアジア地区においても広く普及している代表的な液状化検体細胞診(Liquid Based Cytology:LBC)の製品です。

その標本作製は、独自に開発されたControlled Membrane Transfer™ (CMT) technologyという特許技術により行われ、婦人科、非婦人科のあらゆる領域での細胞診検査において再現性を保持した高品質な標本の作製を保証しています。また、細胞保存液プレザーブサイトの優れた保存安定性は、婦人科におけるHPVやクラミジア/淋菌のDNA検査への応用のみならず、尿検体や呼吸器材料などの非婦人科領域においても遺伝子検査や免疫細胞化学的検査などの追加検査に有効性が高いことが知られております。

さらに、顕微鏡をベースにした自動スクリーニング支援装置「ThinPrep Imaging System」は、2003年に子宮頸がんの一次スクリーニング検査法としてFDA承認を得ており、子宮頸がん検診の精度向上に貢献しています。

従来法	ThinPrep® 法
	
<ul style="list-style-type: none">・大半の細胞成分が廃棄される。・正確な細胞転写が得られない。・細胞の重なりや凝集がみられる。・粉らわしい夾雑物の混入。	<ul style="list-style-type: none">・ほぼすべての細胞成分を回収できる。・正確な細胞成分の転写が得られる。・均一化された細胞分布が反映される。・粉らわしい夾雑物を最小限に抑えることができる。

採取容器



注意事項

- ・ 付属ブルーム型ブラシ推奨。
妊娠10週目以降の患者様には使用されないようお願いします。
10週目以降は綿棒など、普段使用されている器具で結構です。
- ・ 他の容器を使用しての検体の採取及び、提出はご遠慮ください。
- ・ 採取方法につきましては、別紙をご参照ください。

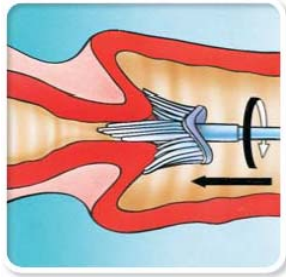
受託開始日

2013年2月13日(火)

検体採取法の手引き

細胞採取を行う前に

- 血液や過剰な粘液・滲出液を、ガーゼや綿棒などであらかじめ除去してください。
- 従来法と同様に、月経時の細胞採取は出来る限り避けることをお勧めします。



採取する

ブルーム型ブラシで、子宮頸部から十分に細胞を採取します。子宮頸管内にブラシの中央部を挿入します。周りの短いブラシ部分が、子宮腔部に接するところまで挿入してください。ブラシをそっと押し付け、右に5回転させて下さい。採取後は、すぐにPreservCyt[®]液バイアルに入れて下さい。

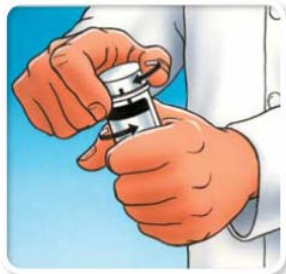
- 注意!** 採取器具を強く患部におしつけると出血する場合がありますので、ご注意ください。
右(時計)回りで行ってください。ブラシの形状上、細胞がよく取れます。



すすぐ

ブラシをPreservCyt[®]液バイアルに入れて、容器の底で毛先が広がるように素早く10回押し付けて下さい。バイアル内で最後に強くかき回し、ブラシを廃棄します。

- 注意!** ブルーム型ブラシの先端部分(白い部分)はバイアル内に落とさないで下さい。
アルコール成分により頸管粘液などが凝固しブラシ部分からの細胞の分離回収が不十分になる可能性があります。



蓋を閉める

蓋の黒いラインがバイアルの黒いラインを超えるように、バイアルの蓋をしっかりと閉めます。

注意事項

- ・ 付属ブルーム型ブラシ推奨。
妊娠10週目以降の患者様には使用されないようお願いします。
10週目以降は綿棒など、普段使用されている器具で結構です。
- ・ 他の容器を使用しての検体の採取及び、提出はご遠慮ください。
- ・ 採取方法につきましては、別紙をご参照ください。

■ 資料提供

ホロジックジャパン株式会社